

主題：  
聖書の中の極めて重要な命の啓示

メッセージ 7

勝利者は神の建造のために命の道を取る

聖書：コロサイ 3:4, I コリント 3:9, 7:13-14, 16:18, 啓 1:10-12, 4:5, 5:6, 2:7, 17, 3:20

- I. 命と建造は、全聖書における二つのかぎとなる言葉です。命は、神がキリストの中で生きた内容となることです。建造は、三一の神の団体的な表現です——創 2:8-12, 22, マタイ 16:18, エペソ 3:8-11, 16-21:
- A. キリストはわたしたちの命であり（コロサイ 3:4）、召会は神の建造です（I コリント 3:9）。
- B. 召会の建造は、信者たちが命の中で成長して、彼らが命の中で造り変えられることによります——6-12 節, コロサイ 2:19:
1. 成長する肢体は、建造する肢体です——エペソ 4:15-16。
  2. キリストのからだ、すなわち、神の召会を建造することは、命の木としてのキリストを人々に供給して、彼らをキリストの中で成長させることです——I コリント 3:6:
    - a. 主イエスが地上におられた時、人々はいつも彼に、善いか悪いか、正しいか間違っているか、イエスカノーカに関する質問をしました（ヨハネ 4:20, 8:5, 9:2, 11:21）。しかし、彼はいつも彼らを命へと向かわせました（4:21, 8:7, 9:3, 11:25）。
    - b. 「クリスチャンは神に仕えること、神のために働くことを学ぶために、善悪知識の木を避けることを学ばなければなりません。……命の木に触れる人たちだけが、彼らの生活と働きが新エルサレムに残るのを見ます」（「ウオッチマン・ニーが務めを再開した時期のメッセージ記録(上)」, 121-122 ページ）。
- C. キリストのからだとしての召会の内在的な意義と天的な実際は、金の燭台によって予表されています。金の燭台は、生きた金の木である三一の神が、復活の命をもって成長し、枝を出し、芽を出し、開花することを描写しています——出 25:31-40, 啓 1:10-12, 民 17:8:
1. わたしたちが勝利を得て、わたしたちの初めの愛としてのキリストに戻る時、わたしたちは彼を命として享受し、神聖な光を輝かし出し、わたしたちの地方でイエスの証しを守ります。そうでないなら、燭台はわたしたちから除き去られます——啓 1:2, 2:4-7。
  2. 諸地方召会は、神がご自身の永遠のエコノミーの目標に到達するための手続きです。わたしたちは諸地方召会の中にいる必要があります。それによってわたしたちは、キリストのからだの実際（エルサレムの中にあるシオン）という目標にもたらされて、実際において金の燭台となることができます——エペソ 1:22-23, 4:4, 詩 48:2, 50:2, 51:18, 102:16, 125:1-2, 128:5:
    - a. わたしたちはキリストのからだの実際の中にいるために、絶対的にキリストの復活の命の中にいる必要があります——I ペテロ 1:3, エペソ 2:6, 参照, 創 2:21-24。
    - b. わたしたちが自分の天然の命によってではなく、わたしたちの中の神聖な命によって生きる時、わたしたちは復活の中にいます。この結果がキリストのからだです——ピリピ 3:10-11, I コリント 3:12。
- D. 神の究極的な建造である新エルサレムでは、わたしたちが飲むための命の川が流れており、またわたしたちが食べるための命の木が命の川の中に生えています。これが示していることは、わたしたちが神の建造にあずかるためには、命「による」以外、また命「をもって」以外、他の道はないということです——啓 22:1-2。
- E. キリストの天の務めにおいて、神の七倍に強化された有機的な救いは、墮落した召会を命としてのキリストの享受へと戻して、キリストのからだを建造し、新エルサレムを究極的に完成して、命における神の究極的な建造、すなわち、命の都とならせます——1:4, 3:1, 4:5, 5:6, 22:1-2:
1. 七倍に強化された命を与える霊は働いて、エペソに在る召会の信者たちを形式的な召会生活から救い

(形式的な召会生活は、主に対する初めの愛、燭台の輝く能力、命としてのキリストの享受を失っています)、勝利者とならせます。そして彼らは褒賞を受けて、神のパラダイス(王国時代における新エルサレム)にある命の木から食べます——2:1-7。

2. 七倍に強化された命を与える霊は働いて、スミルナに在る召会の苦しんでいる信者たちを強め、殉教させることによって迫害に勝利を得させます。そして彼らは褒賞を受けて、王国時代に第二の死を味わうことはありません——8-11 節。
3. 七倍に強化された命を与える霊は働いて、ペルガモに在る召会の信者たちを聖別して、この世との結合から、またバラムの教えとニコライの者たちの教えとから離れさせ、勝利者とならせます。そして彼らは褒賞を受けて、王国時代に隠されたマナを食べ、新しい名が記された白い石を得ます——12-17 節。
4. 七倍に強化された命を与える霊は働いて、テアテラに在る召会の信者たちを救い出して、偶像礼拝、淫行、悪鬼的な教え、サタンの深い事柄から離れさせ、勝利者とならせます。そして彼らは褒賞を受けて、王国時代に諸国民を治める権威を持ちます——18-29 節。
5. 七倍に強化された命を与える霊は働いて、サルデスに在る召会の信者たちを復興して、死と衰退の状況から離れさせ、勝利者とならせます。そして彼らは褒賞を受けて、王国時代に白い衣を着て主と共に歩き、彼らの名が命の書から決して消されず、御父の御前と彼の御使いたちの前で主によって言い表されます——3:1-6。
6. 七倍に強化された命を与える霊は働いて、ヒラデルヒヤに在る召会の信者たちを励まして、だれも彼らの冠を奪うことがないように彼らの持っているものをしっかりと保たせ、勝利者とならせます。そして彼らは褒賞を受けて、王国時代に神の宮の柱となり、神の御名と新しいエルサレムの名と主の新しい名とが彼らの上に書き記されます——7-13 節。
7. 七倍に強化された命を与える霊は働いて、ラオデキヤに在る召会の信者たちを目覚めさせて、なまぬるくてキリストのない状況から離れさせ、精錬された金、白い衣、目薬を、代価を払って買うよう彼らに勧め、戸をたたいている主に戸を開かせ、勝利者とならせます。そして彼らは褒賞を受けて、王国時代に主の御座に着きます——14-22 節。

II. 主の回復は、勝利者を生み出して、キリストのからだを建造するためにあります。それは、王国時代における新エルサレムの初期の完成のためであり(2:7)、新天新地における新エルサレムの完全な完成のためです(21:1-2) :

- A. 勝利者は、その霊が諸召会に言われることを聞く耳を持つことによって、神の建造のために命としてのキリストを享受します——2:7。
- B. 勝利者は、霊の中で生活することによって、神の建造のために命としてのキリストを享受します——1:10。

III. 勝利者は、命の木の原則、すなわち、依存の原則にしたがって生きるべきであって、善悪知識の木の原則、すなわち、独立の原則にしたがって生きるべきではありません——創 2:9, 17. ローマ 8:6 :

- A. 神の目に、最大の罪は独立です。独立とは、霊的な絶縁体であって、わたしたちを神の命から断絶させます——エペソ 4:18。
- B. わたしたちは絶えず主に依存し、絶えず彼との直接的な接触の中に生きることを学ばなければなりません——Ⅱコリント 1:12. ヘブル 11:8. マタイ 6:28. 参照、列王上 7:17-19. 雅 8:5 前半. 歴代下 16:12. イザヤ 50:10-11。

IV. わたしたちは主に奉仕することにおいて、わたしたちの天然の熱心さ、天然の力、天然の能力を拒絶しなければなりません。わたしたちの奉仕は、わたしたちから流れ出る命でなければならず、他の人たちに對する命の供給とならなければなりません——ヨハネ 7:38. Ⅱコリント 3:6. Iヨハネ 5:16 前半 :

- A. わたしたちは神の命の火をもって、霊の中で燃えていなければなりません。わたしたちは異火をもって奉仕するべきではありません。異火とは、天然の熱心さを表徴し、それは十字架によって対処されておらず、また復活の中にありません——出 3:2. ルカ 12:49-50. ローマ 12:11. レビ 10:1 :
1. 祭司の奉仕における異火、でしゃばりの罪は、神の御前に死をもたらします——9:24. 10:1-2。
2. 異火をささげることは、酒を飲むことと関係があったのかもしれませんが。酒を飲むことは、この世的

な、天然的な、肉体的な、物質的な事物を過度に享受することを表徴します——8-9 節。

3. 祭司は酒に酔う時、聖を識別する能力を失い、神の民に教えることができなくなります——10-11 節。

B. わたしたちの天然の力と能力は、十字架によって対処されて、主に対するわたしたちの奉仕のために、復活の中で有用になる必要があります——ピリピ 3:3 :

1. モーセは神によって四十年間わきへ置かれた後、神の導きにしたがって神に仕えることと、神に信頼することを学びました——出 2:14-15. 使徒 7:22-36. ヘブル 11:28。

2. ペテロは完全に失敗した後、信仰によって、へりくだりをもって、兄弟たちに仕えることを学びました——ルカ 22:32-33. ヨハネ 18:15-18, 25-27. マタイ 26:69-75. I ペテロ 5:5-6。

V. キリストは王国の憲法の発布において、神の御前での人の生活と働きについて、二つの道の可能性を示しました——マタイ 7:13-14, 21-27 :

A. 崩壊に至る幅広い道は、この世の体系にしたがっており、天然の味わいを満足させ、群衆を得、人の業績を維持し、人の事業を達成します——13:31-33. 啓 2:13, 20. 17:4-5。

B. 命に至る細い道は、神聖な規則にしたがっており、霊的な要求を満たして、神の選びの民をもたらし、イエス・キリストの証しを担い、神のエコノミーを遂行して、キリストのからだを建造します——ローマ 1:9. ヘブル 11:5-6. 啓 1:1-2, 9-10。

C. 命の中の生ける褒賞へと至る道は、この「道」です（使徒 9:2. 19:9, 23. 22:4. 24:22）。すなわち、真理の道（II ペテロ 2:2）、真っすぐな道（15 節）、義の道（21 節）、平安の道（ルカ 1:79. ローマ 3:17）、救いの道（使徒 16:17）、神の道（マタイ 22:16. 使徒 18:26）、主の道（ヨハネ 1:23. 使徒 18:25）です。それは異端であると中傷される道です（24:14）。

D. 神の定められた道は、言い表すことのできない主の命と務めの模範にしたがって、常に狭くて細い生活と働きとを持つことです——ヨハネ 5:19, 30. 4:34. 17:4. 14:10, 24. 5:30. 7:6, 18。

E. 主の回復において、わたしたちは霊の中で歩かなければなりません。霊の中で歩くことは、わたしたちを制限し、わたしたちに正常なクリスチャン生活を過ごさせ、わたしたちをバイタルで健康な信者にします。このような信者は神の建造のために命の道を取ります——ローマ 8:4. ガラテヤ 5:16, 22-23. I テサロニケ 5:16-18。